

8. 国内外のネットワーク推進事業

協会は、様々なプロジェクトの“ネットワーカー”(つなぎ役)となる場面が多い。この背景には①財政的自立度が高く独立した立場で行動できること、②長年の活動を通じ多様な分野にネットワークをもち分野横断的な仲介役を果たせること、③NPOと企業、行政とのパートナーシップ形成のノウハウを蓄積してきたこと、④推進機関の中で相対的に大きな存在でありNPO界をリードする役割が期待されていることなど様々な要因があげられる。

2011年度も様々な結び役となったが、本章では他章で紹介していないものを中心に報告する。

1. 国内でのネットワーク活動

(1) 「全国民間ボランティア・市民活動推進者企画戦略会議」(第29回)の開催

独立系の市民活動推進センターの全国ネットワークとして、民間的自立度の高い市民活動推進機関を、広く参加対象としている。協会は設立当初から実行委員として関わっており、2011年度はとちぎボランティアネットワークが事務局となり、被災地支援との関連で岩手県遠野市で開催された。

日時：2011年6月18日(土)～19日(日)

場所：遠野まごころネット、花巻温泉(岩手県)

内容：オープニングワーク「“足湯”を学ぶ」を受講の後、岩手県に移動。1日目は、災害ボランティア活動とふりかえり、2日目はゲストを招いての全体討議を実施した。民間ボランティア活動推進機関が被災地支援に向き合うための方策を考える機会になった。

(プログラム)「復興もうひとつの社会」(村井雅清・被災地NGOセンター) / 「災害ボランティア文化」(矢野正弘・とちぎボランティアネットワーク) / 「福島で起きていること―避難生活の支援」(宮下加奈・減災復興支援機構)

参加者：30人(協会からは岡本、早瀬、水谷、永井が参加)

(2) その他の主なネットワーク事業

① 「広がれ! ボランティアの輪・連絡会議」への参画

表記会議は全国レベルのボランティア活動推進機関のネットワークであり、協会も連絡会議の幹事団体として参画。2011年はボランティア国際年から10年目にあたる年であり、「ボランティア国際年+10」が企画づくりにも事業プロジェクトチームリーダーとして協力している。

② NPOの活動推進に関わる各種ネットワークへの参画 (3章で報告)

③ 社会的責任向上に関するNPOネットワークへの参画 (6章で報告) など

(3) 役員などの派遣(理事長、常務理事、事務局長などが役員などに就任している主な団体。2011年度末現在)

- ①. (福)大阪府社会福祉協議会・理事(牧里理事長)、評議員(早瀬常務理事)
- ②. (福)大阪市社会福祉協議会・評議員(牧里理事長)
- ③. (公財)ユニバーサル財団・理事(岡本顧問)
- ④. (公財)大阪ガスグループ福祉財団・評議員(岡本顧問)
- ⑤. (公財)日本生命済生会・評議員(岡本顧問)
- ⑥. (福)大阪キリスト教社会館・評議員(岡本顧問)
- ⑦. (認定特活)日本NPOセンター・副代表理事(早瀬常務理事)
- ⑧. (公財)公益法人協会・理事(早瀬常務理事)
- ⑨. (特活)日本ボランティアコーディネーター協会・副代表理事(早瀬常務理事)
- ⑩. (特活)日本ファンドレイジング協会・理事(早瀬常務理事)
- ⑪. (財)大阪府地域福祉推進財団・評議員(早瀬常務理事)

- ⑫. (公財)大同生命厚生事業団・理事 (早瀬常務理事)
- ⑬. (福)朝日新聞厚生文化事業団・理事 (早瀬常務理事)
- ⑭. 大阪府障がい者スポーツ振興協会・理事 (水谷事務局長)
- ⑮. 大阪府ボランティア・市民活動センター・運営委員 (水谷事務局長)
- ⑯. 大阪市ボランティア情報センター・運営委員 (水谷事務局長) など

2. 海外とのネットワーク推進

(1) 姉妹提携団体「韓国自願奉仕聯合會」との連携

協会が姉妹提携している「韓国自願奉仕聯合會」(本部・釜山)との事業連携を図るため、2011年度は訪韓し、以下の姉妹血縁記念事業を行った。

・「韓日ボランティアワークショップ」(釜山広域市)の開催

2012年2月8日(水)～9日(木)に、岡本榮一顧問、藤原麻佐 文化共生事業委員長、永井美佳事務局次長が訪問。8日(水)は、「多文化共生とボランティア～私達は皆一つの家族」をテーマに、「韓日ボランティアワークショップ」を開催。開会挨拶の後、韓日交互に4人が発題し、その後に全体討論を行った。

9日(木)は、交流事業として、「多文化家族支援センター(釜山広域市東萊区)」を視察した。

①「韓日ボランティアワークショップ」

- ・日 時：2012年2月8日(水) 14時30分～17時00分
- ・会 場：釜山広域市庁国際会議室
- ・参加者：約70人
- ・発題者：①イ・イルハン(釜山広域市女性政策担当官室・担当)
 テーマ：「釜山の多文化家族支援計画」
- ②岡本 榮一(大阪ボランティア協会・顧問)
 テーマ：「日本の多文化共生とボランティア」
- ③オ・ヒスン(釜山広域市沙下区多文化家族支援センター・センター長)
 テーマ：「多文化家族支援センターの役割と課題」
- ④藤原麻佐代(大阪ボランティア協会・多文化共生事業推進委員)
 テーマ：「日本における多文化共生とボランティア活動」

②「多文化家族支援センター」視察

- ・日 時：2012年2月9日(木) 10時00分～11時30分
- ・訪問先：釜山広域市東萊区多文化家族支援センター
- ・参加者：6人



ワークショップでの岡本榮一顧問の発題



多文化家族支援センター 語学講座中